

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 敬人会 児童発達支援事業所 きっずハート 新南部教室			
○保護者評価実施期間	2025年12月17日 ～ 2025年1月17日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16人	(回答者数)	15人
○従業者評価実施期間	2025年12月17日 ～ 2025年1月17日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの特性に合った支援を受けられるよう環境が整っていること。	訓練室はパーテーションやタイムタイマー、絵カードを使用するなど個人としても生活しやすい環境が整っている。支援プログラムでは、粗大運動、マッサージ、活動、指先遊びなど1日の流れの中で身体全体にアプローチできる。	活動内容を更に工夫し、子どもたちが遊びを楽しみながら発達していける活動の立案をしていく。
2	保護者支援に力を入れていること。	療育の様子を写真とともに毎回発信している。利用児の成長や職員の気づきを伝え、利用児の発達を一緒に考えていく姿勢を大切にしている。	療育観察や電話相談など相談支援を更に強化したい。
3	職員の資質向上を図り専門性の向上に努めていること。	毎週火曜日から木曜日に30分程度の時間で研修を行っている。研修では、一人一人が発言するなど意見を十分に伝え合うことを意識して進め、様々な考え方に触れたり、他者の考えを受け入れるトレーニングにも繋がっている。	専門職としての自覚と責任を持ち、更に学びを深めていける職場づくりを行っていきたい。決まった課題以外にもメディアで取り上げられている最新の情報についても問題意識を持ち、全職員で取り組む意識を大切にしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害の発生に備えた訓練を年間で計画し、定期的の実施してきたが、具体的な日時や実施状況を保護者等への周知が不足していた。	火災訓練だけでなく、地震、水害、不審者(防犯)など様々な訓練を年間で計画し実施してきた。職員間での反省等も踏まえて写真と記述で記録していたが、事業所内での活用にとどまり保護者への周知をしていなかった。	毎月のおたよりに災害訓練の内容を掲載し、併せて訓練後は避難の状況等を写真を掲載するなどして保護者へも周知していく。
2	事故等(怪我を含む)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明されているかについて、保護者の方への周知が不足していた。	令和6年度は事故等(病院受診)もなく安全に療育を進めることができた。その旨について保護者へ普段のご協力とご理解に感謝し周知する必要があった。	小さな怪我(擦り傷等)については、その都度保護者へ連絡し、怪我の経緯と処置について説明をしている。また、ヒヤリハットなども全職員で共有し、再発防止に努めているが、重要事項説明の際に、事故等発生時の対応について更に丁寧な説明を行っていきたい。
3	事業所等には、様々な各種マニュアルがあるが、保護者への周知・説明などの発信が不足していた。	各マニュアル等の職員研修を行った際には、職員が学んだ内容が療育につながっていることを保護者へも知らせるなど工夫が必要だった。	契約の際にマニュアルに沿って運営されている旨の説明と発生を想定した訓練や研修を定期的に行っていることを説明していきたい。